

椿関連文献資料「岸川椿蔵書」



▲図1：ケンペルの「廻国奇觀」に描かれた椿



▲図2：江戸の園芸書草木奇品家雅見



▲図3：古典洋種椿を描いたプレート類



▲図4：岸川氏により復刻された資料類



▲図5：配架された現代書。海外の椿関連文献も豊富に含まれている。

「岸川椿蔵書」は、コーベカメリアソサイエティ前会長の岸川慎一郎氏が収集した内外の椿関連資料である。内外の椿園芸学の歴史を一望できる国際的文献コレクションとなっている。植物学的にもツンベルグの「日本植物誌」の挿絵集やケンペルによる「廻国奇觀」(図1)などがサザンカやヤブツバキの原記載資料として含まれており、重要なコレクションである。またカーティス・ボタニカルマガジンや園芸辞典類などの古典洋書(図2)や、和書としても江戸期の園芸書(図3)などが多く、これらは復刻されて神戸カメリアソサイエティにより公開、刊行され、古典品種の貴重な参考書となっている(図4)。本コレクションはその原資料となる。(参考)

<http://www.hct.zaq.ne.jp/kishikawa/index.htm>